

令和5年度 ESAT-J YEAR 1 採点基準

Part A – 音読

評価	評価基準	
	発音と強勢	読む速さや間の取り方
	<ul style="list-style-type: none"> 個々の語の発音が分かりやすく、語や文の強勢が適切で、文章の意味を効果的に聞き手に伝えることができる。 多少の誤りはあっても、聞き手が十分に理解することのできる発音である。 	<ul style="list-style-type: none"> 読む速さが適切で、文章の意味を効果的に聞き手に伝えることができる。 不自然な間があっても、聞き手が十分に理解することができる。
	<ul style="list-style-type: none"> 個々の語の発音がおおむね分かりやすく、語や文の強勢がおおむね適切で、文章の意味を聞き手に伝えることができる。 発音の誤りがあり、聞き手にとって分かりにくいことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 読む速さが適切ではないことがある（遅いまたは、一定ではない）が、文章の意味を聞き手に伝えることができる。 不自然な間があり、聞き手にとって分かりにくいことがある。
	<ul style="list-style-type: none"> 個々の語の発音が分かりにくいことが多く、語や文の強勢が適切ではないため、文章の意味を聞き手に伝えることができていない。 常に、発音に誤りがあり、強勢が適切ではないため、聞き手にとって分かりにくい。 	<ul style="list-style-type: none"> 読む速さが適切ではないため、文章の意味を聞き手に伝えることができていない。 常に、不自然な間があり、聞き手にとって分かりにくい。
 (解答なし)	<ul style="list-style-type: none"> 個々の語の大部分が分かりにくい発音であり、文章の意味を聞き手に伝えることができていない。 または、評価するために十分な量の語や文を読んでいない。 	<ul style="list-style-type: none"> 解答全体を通して、読む速さが適切ではなく、不自然な間があるため、文章の意味を聞き手に伝えることができていない。 または、評価するために十分な量の語や文を読んでいない。

Part B – 会話

参考 CEFR-J	評価基準
A1.3	<p>○<u>三つ全ての課題（二つの解答と一つの質問）</u>において、コミュニケーションの目的や場面、状況などに応じて適切な解答をしている。二つの解答のうち、少なくとも一つの解答において、内容を補足する情報を加えて表現している。</p> <p>○主に、以下のような言語的な特徴がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 必要に応じて、平易な文を使っている。 ● 文法と語彙に多少の基礎的な誤りがあるが、聞き手が十分に理解することができる。 ● 発音・話す速さ・間の取り方がおおむね適切で、聞き手が十分に理解することができる。
A1.2	<p>○<u>三つの課題のうち、少なくとも二つ</u>において、コミュニケーションの目的や場面、状況などに応じて適切な解答をしている。</p> <p>○主に、以下のような言語的な特徴がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 必要に応じて、平易な文を使おうとしているが、多少の誤りがある。 ● 文法と語彙に基礎的な誤りがあり、聞き手にとって分かりにくいことがある。 ● 発音・話す速さ・間の取り方が不自然で、聞き手にとって分かりにくいことがある。
A1.1	<p>○<u>三つの課題のうち、少なくとも二つ</u>において、コミュニケーションの目的や場面、状況などに応じて適切な解答をしている。</p> <p>○主に、以下のような言語的な特徴がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 必要に応じて、平易な文を使おうとしているが、誤りが多い。 ● 文法と語彙に基礎的な誤りがあるため、聞き手にとって分かりにくい。 ● 発音・話す速さ・間の取り方が不自然で、聞き手にとって分かりにくい。
PreA1	<p>○<u>まとまりのない語句</u>を並べる程度で、コミュニケーションの目的や場面、状況などに応じた適切な解答をしていない。</p> <p>○主に、以下のような言語的な特徴がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 限られた単語や表現で答えている。 ● 文法と語彙に誤りがあるため、解答の内容が伝わらない。 ● 発音・話す速さ・間の取り方が不自然で、聞き手に内容が伝わらない。
グレード なし	<ul style="list-style-type: none"> ● 求められている解答内容から明らかに外れている。 ● 英語ではない、あるいは、英語として通じない。 ● 力を測るための十分な量の発話がない。

Part C – イラストの説明

参考 CEFR-J	評価基準
A1.3	<p>○イラストの内容を描写する上で<u>重要な六つのポイント</u>（「何が」、「どこに」あるか）のうち、<u>少なくとも五つ</u>を、コミュニケーションの目的や場面、状況などに応じて<u>適切に描写している</u>。</p> <p>○主に、以下のような言語的な特徴がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 平易な文を使っている。 ● 文法と語彙に多少の基礎的な誤りがあるが、聞き手が<u>十分に理解することができる</u>。 ● 発音・話す速さ・間の取り方がおおむね適切で、聞き手が<u>十分に理解することができる</u>。
A1.2	<p>○イラストの内容を描写する上で<u>重要な六つのポイントのうち、少なくとも四つ</u>を、コミュニケーションの目的や場面、状況などに応じて<u>適切に描写している</u>。</p> <p>○主に、以下のような言語的な特徴がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 平易な文を使おうとしているが、多少の誤りがある。 ● 文法と語彙に基礎的な誤りがあり、聞き手にとって<u>分かりにくいことがある</u>。 ● 発音・話す速さ・間の取り方が不自然で、聞き手にとって<u>分かりにくいことがある</u>。
A1.1	<p>○イラストの内容を描写する上で<u>重要な六つのポイントのうち少なくとも三つ</u>を、コミュニケーションの目的や場面、状況などに応じて<u>適切に描写している</u>。</p> <p>○主に、以下のような言語的な特徴がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 平易な文を使おうとしているが、誤りが多い。 ● 文法と語彙に基礎的な誤りが多く、聞き手にとって<u>分かりにくい</u>。 ● 発音・話す速さ・間の取り方が不自然で、聞き手にとって<u>分かりにくい</u>。
PreA1	<p>○<u>まとまりのない語句</u>を並べる程度で、コミュニケーションの目的や場面、状況などに応じた<u>適切な解答をしていない</u>。</p> <p>○主に、以下のような言語的な特徴がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 限られた単語や表現で答えている。 ● 文法と語彙に誤りがあるため、解答の内容が伝わらない。 ● 発音・話す速さ・間の取り方が不自然で、聞き手に内容が伝わらない。
グレード なし	<ul style="list-style-type: none"> ● 求められている解答内容から明らかに外れている。 ● 英語ではない、あるいは、英語として通じない。 ● 力を測るための十分な量の発話がない。

Part D – ナレーション

参考 CEFR-J	評価基準
A1.3	<p>○コミュニケーションの目的や場面、状況などに応じて、イラストにある全ての時間の表現を使い、三つのイラスト全てを一連の行動として説明している。</p> <p>○主に、以下のような言語的な特徴がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 平易な文を使っている。 ● 一連の行動の流れを順序立てて説明するための表現（接続詞など）を使おうとしているが、多少の誤りがある。 ● 文法と語彙に多少の基礎的は誤りがあるが、聞き手が十分に理解することができる。 ● 発音・話す速さ・間の取り方がおおむね適切で、聞き手が十分に理解することができる。
A1.2	<p>○コミュニケーションの目的や場面、状況などに応じて、イラストにあるいくつかの時間の表現を使い、三つのイラスト全てにおける行動を説明している。</p> <p>○主に、以下のような言語的な特徴がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 平易な文を使っている。 ● 各イラストの行動は順番に説明されているが、一連の行動の流れを順序立てて説明するための適切な表現を使っていない。 ● 文法と語彙に多少の基礎的な誤りがあり、聞き手にとって分かりにくいことがある。 ● 発音・話す速さ・間の取り方が不自然で、聞き手にとって分かりにくいことがある。
A1.1	<p>○コミュニケーションの目的や場面、状況などに応じて、少なくとも二つのイラストの行動を説明している。</p> <p>○主に、以下のような言語的な特徴がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 平易な文を使おうとしているが、誤りが多い。 ● 文法と語彙に基礎的な誤りが多く、聞き手にとって分かりにくい。 ● 発音・話す速さ・間の取り方が不自然で、聞き手にとって分かりにくい。
PreA1	<p>○まとまりのない語句を並べる程度で、コミュニケーションの目的や場面、状況などに応じて、行動を適切に説明していない。</p> <p>○主に、以下のような言語的な特徴がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 限られた単語や表現で答えている。 ● 文法と語彙に誤りがあるため、解答の内容が伝わらない。 ● 発音・話す速さ・間の取り方が不自然で、聞き手に内容が伝わらない。
グレード なし	<ul style="list-style-type: none"> ● 求められている解答内容から明らかに外れている。 ● 英語ではない、あるいは、英語として通じない。 ● 力を測るための十分な量の発話がない。

ESAT-J

中学校英語スピーキングテスト

English Speaking Achievement Test for Junior High School Students

令和5年度 中学校英語スピーキングテスト ESAT-J YEAR 1 採点結果報告書

YEAR 1

概要

中学校英語スピーキングテスト（ESAT-J YEAR 1 及び YEAR 2）は、令和 6 年 1 月から 3 月にかけて実施され、採点・評価が行われました。本書には、ESAT-J YEAR 1（以下、YEAR 1）の採点基準と問題内容の紹介とともに、実際の解答例や評価とその理由、そして指導者の皆さまへのアドバイスが記載されています。

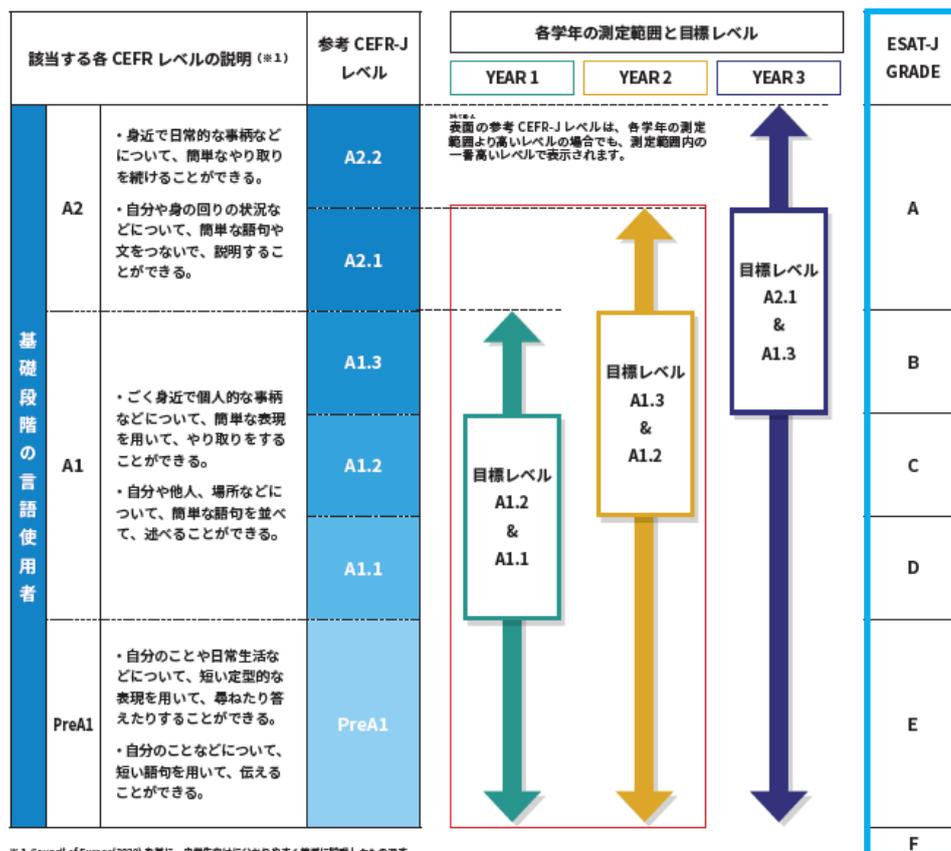
ESAT-J と CEFR / CEFR-J との関連

次のページの表は、ESAT-J の 3 つのテスト（YEAR 1, YEAR 2, YEAR 3）が CEFR / CEFR-J の到達度スケールでどのレベルに相当するかを示しています。

この報告書は ESAT-J YEAR 1 のテストに関するもので、説明の中で PreA1, A1.1, A1.2 そして A1.3 というレベル表示がしばしば出てきます。それらがどのようなレベルを表しているのか確認する際の参考にしてください。

（参考）CEFR 及び CEFR-J について

ESAT-J YEAR 1、YEAR 2 及び YEAR 3 は、CEFR レベル及び CEFR-J レベルを参考にして、段階的に学年ごとの**目標レベル**を設定しています。ESAT-J YEAR 3 は、**ESAT-J GRADE** で評価されます。



※1 Council of Europe(2020) を基に、中学生向けに分かりやすく簡単に説明したものです。

CEFR とは

CEFR(Common European Framework of Reference for Languages : 欧州言語共通参照枠 ; 2001, 2020) は、欧州評議会 (Council of Europe) によって発表された、外国語能力の参照基準です。



参考：Council of Europe の CEFR に関するウェブサイト【英語】

CEFR-J とは

CEFR-J は、CEFR を基に、日本の英語教育での利用を目的に作られた、英語能力の到達度指標で、「英語を使って何が出来るか」を示しています。



参考：CEFR-J のウェブサイト

実際に受験生が解答した例とその評価の理由

ここでは、各パートの評価の観点とその主なポイント、実際の解答例、それに対する評価とその理由について解説します。よい解答例だけでなく、各レベルの実際の解答を示しながら説明を付け加えています。また、英語科の先生方が生徒の皆さまを支援し、「話すこと」の力をより高めるための指導を行う際のヒントとなる情報についても記載しています。

※なお、「実際に受験生が解答した例（受験生の音読例、受験生の解答例）」は、採点者が実際の受験生の音声を聞こえたまま文字に書き起こしたもので、実際の英語のつづりと異なるものや、意味をなさない表記もあります。

※こちらの二次元コードから、解答例の音声（声優による模倣）を視聴できる採点結果解説動画にアクセスできます。



Part A

<問題指示文>

Part A は、音読の問題で、1問あります。聞いている人に、意味や内容が伝わるように、英文を声に出して読んでください。

Hi, everyone. What do you do on weekends? I like cooking.

I cook dinner for my family every Saturday. They like my tomato soup very much. It's delicious.

1 評価の観点とその主なポイント

音声

- 個々の語の発音が分かりやすく、語や文の強勢が適切で、文章の意味を聞き手に伝えることができる。
- 聞き手が理解することのできる発音である。
- 読む速さが適切で、文章の意味を聞き手に伝えることができる。
- 不自然な間があっても、聞き手が理解することができる。

2 受験者の音読から見える傾向

- ・評価の高い音読は、個々の語の発音が分かりやすく、読む速さや間の取り方が適切で、文章の意味を聞き手に十分伝えていました。
- ・評価の低い音読は、個々の語の発音や強勢が分かりにくかったり、不自然な間があったりして、文章の意味が聞き手に伝わりにくいものでした。

採点基準 Part A 音読

評価	採点基準	
	発音と強勢	読む速さや間の取り方
	<ul style="list-style-type: none"> 個々の語の発音が分かりやすく、語や文の強勢が適切で、文章の意味を効果的に聞き手に伝えることができている。 多少の誤りはあっても、聞き手が十分に理解することのできる発音である。 	<ul style="list-style-type: none"> 読む速さが適切で、文章の意味を効果的に聞き手に伝えることができている。 不自然な間があっても、聞き手が十分に理解することができる。
	<ul style="list-style-type: none"> 個々の語の発音がおおむね分かりやすく、語や文の強勢がおおむね適切で、文章の意味を聞き手に伝えることができている。 発音の誤りがあり、聞き手にとって分かりにくいことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 読む速さが適切ではないことがある（遅い、または、一定ではない）が、文章の意味を聞き手に伝えることができている。 不自然な間があり、聞き手にとって分かりにくいことがある。
	<ul style="list-style-type: none"> 個々の語の発音が分かりにくいことが多く、語や文の強勢が適切ではないため、文章の意味を聞き手に伝えることができていない。 常に、発音に誤りがあり、強勢が適切ではないため、聞き手にとって分かりにくい。 	<ul style="list-style-type: none"> 読む速さが適切ではないため、文章の意味を聞き手に伝えることができていない。 常に、不自然な間があり、聞き手にとって分かりにくい。
 (解答なし)	<ul style="list-style-type: none"> 個々の語の大部分が分かりにくい発音であり、文章の意味を聞き手に伝えることができていない。 または、評価するために十分な量の語や文を読んでいない。 	<ul style="list-style-type: none"> 解答全体を通して、読む速さが適切ではなく、不自然な間があるため、文章の意味を聞き手に伝えることができていない。 または、評価するために十分な量の語や文を読んでいない。

3 受験者の解答例の評価とその理由

受験生の音読例	評価	評価の理由
<p>“Hi, hi everyone. What do you do on weekend. I like cooking. I cook dinner for my family every Saturday. They like my tomat soup very much. It's delicious.”</p>	<p>発音と強勢： ★★★</p> <p>読む速さや間の取り方： ★★★</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の語の発音が分かりやすく、文章の意味を効果的に聞き手に伝えるのに適切です。聞き手が十分に理解することができます。（weekend, tomat など正しく読めていなくても、聞き手の理解に影響がないと判断しています。） ・読む速さは、文章の意味を効果的に聞き手に伝えるために適切です。 ・音読の課題を達成しているとてもよい例で、分かりやすく効果的に読めています。
<p>“Hi everyone. What do you do oh wheno? I like cooking, I cook dinner for my family every. Somti-day the like my tomato soup very much. It is deli ... oh ”</p>	<p>発音と強勢： ★★</p> <p>読む速さや間の取り方： ★★</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の語の発音がおおむね分かりやすく、語や文の強勢は文章の意味を聞き手に伝えるのにおおむね適切です。 ・読む速さが遅く、または不均等ですが、文章の意味を聞き手に伝えています。 ・不自然な間があり、聞き手にとって分かりにくいことがあります。
<p>“Hi, e everyone. Eh... what do you do on we ... week? I like c****ing. I cook dinner for my... family. Eh day. Satu ... Satur ... Saturday like my tomato so up very much. It deshats”</p>	<p>発音と強勢： ★</p> <p>読む速さや間の取り方： ★</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の語の発音が分かりにくいことが多く、語や文の強勢が適切ではないため、文章の意味を聞き手に伝えることができていません。 ・読む速さが適切ではなく、また、不自然な間があるため、文章の意味を聞き手に伝えることができていません。
<p>“I... I like... I look to for my ... This like my t... It's...”</p>	<p>発音と強勢： ★（解答なし）</p> <p>読む速さや間の取り方： ★（解答なし）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大部分の語が発音されていません。 ・採点者が評価をするために十分な量の語や文が発音されていません。

<注> 「音読」は CEFR / CEFR-J の Can-do（能力記述文）において該当するものがないため、4段階（★:0~3）で評価していません。

<書き起こしの文中の記号について>

*：受験者の解答が単語として判別できなかったもの。

…：受験者の発話が止まって、間が空いていることを示すもの。

4 採点者のコメント

- ・ 発音が分かりやすく、強勢が適切で、また、読む速さや間の取り方が適切な音読を高く評価しました。

5 指導者の皆さんへ（ブリティッシュ・カウンシルより）

- ・ 問題の指示文にあるように、「聞いている人に、意味や内容が伝わるように」するためには、文章を読む速さが速過ぎてもゆっくりし過ぎても適切ではありません。
- ・ 複数の音節からできている語においては、どの部分を強く発音するのかに注意させましょう。
（例：to・**ma**・to **Sat**・ur・day）
- ・ 単語の語尾に子音が連続する場合（例：weekends）は、意識して発音できるように支援してください。

Part B

<問題指示文>

Part B は、会話の問題で、3問あります。あなたは、日本に来たばかりの留学生のハナと話しています。はじめに、ハナがあなたに二つの質問をします。

No.1 What time do you get up every morning?

No.2 What is your favorite subject?

今度は、あなたがハナに対して、次の画面で表示される内容について質問する番です。

No.3 ハナに対して、次のことを英語で質問してください。

「好きな音楽」

1 評価の観点とその主なポイント

コミュニケーションの達成度

- 三つの課題において、コミュニケーションの目的や場面、状況などに応じて適切な解答をしている。

言語使用

- 必要に応じて平易な文を使っている。
- 文法と語彙が適切で、聞き手が理解することができる。

音声

- 発音・話す速さ・間の取り方が適切で、聞き手が理解することができる。

2 受験者の解答から見える傾向

- A1.3 レベルの解答は、質問に関連した補足情報（質問に関連して受験生自身の興味・関心のあること）を付け加えていました。
- A1.3 または A1.2 レベルの解答は、全ての質問に適切に解答し、No.3 の問題（質問文の作成）では適切な質問文を作成していました。
- A1.1 または PreA1 レベルの解答は、全ての質問には答えることができませんでした。また、No.3 の問題では、多くの受験者が適切な質問文を作成することができていませんでした。

採点基準 Part B 会話

参考 CEFR-J	採点基準
A1.3	<p>○<u>三つ全ての課題（二つの解答と一つの質問）</u>において、コミュニケーションの目的や場面、状況などに応じて適切な解答をしている。二つの解答のうち、少なくとも一つの解答において、内容を補足する情報を加えて表現している。</p> <p>○主に、以下のような言語的な特徴がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 必要に応じて、平易な文を使っている。 • 文法と語彙に多少の基礎的な誤りがあるが、聞き手が十分に理解することができる。 • 発音・話す速さ・間の取り方がおおむね適切で、聞き手が十分に理解することができる。
A1.2	<p>○<u>三つの課題のうち、少なくとも二つ</u>において、コミュニケーションの目的や場面、状況などに応じて適切な解答をしている。</p> <p>○主に、以下のような言語的な特徴がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 必要に応じて、平易な文を使おうとしているが、多少の誤りがある。 • 文法と語彙に基礎的な誤りがあり、聞き手にとって分かりにくいことがある。 • 発音・話す速さ・間の取り方が不自然で、聞き手にとって分かりにくいことがある。
A1.1	<p>○<u>三つの課題のうち、少なくとも二つ</u>において、コミュニケーションの目的や場面、状況などに応じて適切な解答をしている。</p> <p>○主に、以下のような言語的な特徴がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 必要に応じて、平易な文を使おうとしているが、誤りが多い。 • 文法と語彙に基礎的な誤りがあるため、聞き手にとって分かりにくい。 • 発音・話す速さ・間の取り方が不自然で、聞き手にとって分かりにくい。
PreA1	<p>○<u>まとまりのない語句</u>を並べる程度で、コミュニケーションの目的や場面、状況などに応じた適切な解答をしていない。</p> <p>○主に、以下のような言語的な特徴がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 限られた単語や表現で答えている。 • 文法と語彙に誤りがあるため、解答の内容が伝わらない。 • 発音・話す速さ・間の取り方が不自然で、聞き手に内容が伝わらない。
グレード なし	<ul style="list-style-type: none"> • 求められている解答内容から明らかに外れている。 • 英語ではない、あるいは、英語として通じない。 • 力を測るための十分な量の発話がない。

3 受験者の解答例の評価とその理由

受験者の解答例	参考 CEFR-J レベル	評価の理由
<p>No.1: I get up at 5.30 a.m.. No.2: My favorite subject is maths because it's very interesting. No.3: What music do you like?"</p>	A1.3	<ul style="list-style-type: none"> ・この解答例は、'because'を使って理由を加えている良い例です。 ・三つすべての課題において、適切な解答をしています。二つの質問に対する解答のうち、一つで補足情報を加えています（"because it's very interesting"）。 ・平易な文を使っています。 ・この解答には文法と語彙の誤りはなく、聞き手が十分に理解することができます。 ・発音、話す速さや間の取り方がおおむね適切で、聞き手が十分に理解することができます。
<p>No.1: I get up 9 morning. No.2: My favorite ... favorite subject is math. No.3: What is you your favorite music?"</p>	A1.2	<ul style="list-style-type: none"> ・三つの課題のうち、少なくとも二つにおいて、適切な解答をしています（実際には三つ全てに解答をしています）。 ・質問に対して平易な文を使っています。聞き手が十分に理解することができます。 ・補足情報が加えられると、より良い評価になります。
<p>No.1: I get up 6 a.m.. No.2: I ver math sub, math. No.3: What <i>what like</i> do you like music?"</p>	A1.1	<ul style="list-style-type: none"> ・三つの課題のうち、少なくとも二つにおいて、適切な解答をしています。 ・平易な文を使おうとしていますが、誤りが多く見られます（動詞の使用がない、質問文の語順の誤りがある）。 ・文法の基礎的な誤りがあり、聞き手にとって分かりにくいところがあります。 ・話す速さや間の取り方が不自然で、聞き手にとって分かりにくくなっています。
<p>No.1: <i>Uh, what... I ...</i> I get up time in ..."</p>	PreA1	<ul style="list-style-type: none"> ・まとまりのない語句を並べる程度で、課題に適切な解答をしていません。 ・解答が語句に限られています。 ・文法と語彙に誤りがあるため、解答の内容が伝わりません。 ・発音、話す速さや間の取り方が不自然で、聞き手に内容が伝わりません。 ・これは、課題に適切に解答していませんが、英語で表現しようとしていることで評価が与えられています。

4 採点者のコメント

聞き手が理解しやすく、平易な文を使っている解答を高く評価しました。

- ・ A1.3 レベルの解答には、質問に対する解答だけでなく、質問に関連した個人的な情報やその理由などの補足情報がみられました。
- ・ コミュニケーションにおいて、間違いを恐れずに伝えようとする姿勢も考慮して評価しました。
- ・ A1.1 及び PreA1 レベルの解答は、質問をすることがうまくできず、一語の解答など、最小限の解答に限られていました。

5 指導者の皆さんへ（ブリティッシュ・カウンシル 採点チームより）

- ・ 質問文を練習するとき、「メモや原稿に頼らずに質問する」練習を増やすとよいでしょう。「尋ねたいこと（日本語）を踏まえて、表現（英語に）すること」（Part B の第3問）は、日常のコミュニケーションでも、表現する機会が多いと考えられます。その際に、疑問文の語順に十分注意させてください。
- ・ コミュニケーションを深めていくため、質問に対する答えに留まらず、それに関連した情報も加えて表現するように促してください。A1.3 レベルの解答では、質問に対する最小限の答えだけでなく、質問に関連した補足情報を加えて表現しています。
- ・ 全ての課題に答えるように促してください。コミュニケーションにおいて、質問に対して沈黙してしまわずに、なんとか答えようとする姿勢が大切です。

Part C

<問題指示文>

Part C は、1枚のイラストについて説明する問題で、1問あります。どこに、何が見えますか。できるだけ多く解答してください。



1 評価の観点とその主なポイント

コミュニケーションの達成度

- イラストの内容を描写する上で重要な六つのポイント（「何が」、「どこに」あるか）について、コミュニケーションの目的や場面、状況などに応じて適切に描写している。

言語使用

- 必要に応じて平易な文を使っている。（主語＋動詞＋場所を表す前置詞句）
- 文法と語彙が適切で、聞き手が理解することができる。

音声

- 発音・話す速さ・間の取り方が適切で、聞き手が理解することができる。

2 受験者の解答から見える傾向

- A1.3 または A1.2 レベルの解答は、平易な文を使って、イラストを十分に説明していました。
- A1.2 レベルの解答は、「主語＋動詞＋場所を表す前置詞句」という形や表現を適切に使っていました。
- 前置詞はおおむね適切に使われていました。
- A1.1 または PreA1 レベルの解答は、動詞が抜けていました。（例：is/are の脱落）
- PreA1 レベルの解答は、イラストの中の名詞（例：cat, flowers, bed）を並べる程度に留まっていた。
- 典型的な誤りとして次のようなものがありました。
 - ✓ 解答には「何が」「どこに」という要素が必要ですが、それが不十分なものが見られました。（例：The cat (何が) is on the bed (どこに)の要素が不足し、聞き手に十分伝わらない）
 - ✓ 語彙の使い方が適切でないものが見られました。（例：'table'とすべきところ、'desk'を使用）
 - ✓ A1.1 レベルの解答で、under の使い方が適切ではない例がありました。（例：“The chair is under the basketball.”）

採点基準 Part C イラスト描写

参考 CEFR-J	採点基準
A1.3	<p>○イラストの内容を描写する上で<u>重要な六つのポイント</u>（「何が」、「どこに」あるか）のうち、<u>少なくとも五つ</u>を、コミュニケーションの目的や場面、状況などに応じて<u>適切に描写している</u>。</p> <p>○主に、以下のような言語的な特徴がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 平易な文を使っている。 ● 文法と語彙に多少の基礎的な誤りがあるが、聞き手が十分に理解することができる。 ● 発音・話す速さ・間の取り方がおおむね適切で、聞き手が十分に理解することができる。
A1.2	<p>○イラストの内容を描写する上で<u>重要な六つのポイントのうち、少なくとも四つ</u>を、コミュニケーションの目的や場面、状況などに応じて<u>適切に描写している</u>。</p> <p>○主に、以下のような言語的な特徴がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 平易な文を使おうとしているが、多少の誤りがある。 ● 文法と語彙に基礎的な誤りがあり、聞き手にとって分りにくいことがある。 ● 発音・話す速さ・間の取り方が不自然で、聞き手にとって分りにくいことがある。
A1.1	<p>○イラストの内容を描写する上で<u>重要な六つのポイントのうち少なくとも三つ</u>を、コミュニケーションの目的や場面、状況などに応じて<u>適切に描写している</u>。</p> <p>○主に、以下のような言語的な特徴がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 平易な文を使おうとしているが、誤りが多い。 ● 文法と語彙に基礎的な誤りが多く、聞き手にとって分りにくい。 ● 発音・話す速さ・間の取り方が不自然で、聞き手にとって分りにくい。
PreA1	<p>○<u>まとまりのない語句</u>を並べる程度で、コミュニケーションの目的や場面、状況などに応じた<u>適切な解答をしていない</u>。</p> <p>○主に、以下のような言語的な特徴がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 限られた<u>単語や表現</u>で答えている。 ● 文法と語彙に誤りがあるため、<u>解答の内容が伝わらない</u>。 ● 発音・話す速さ・間の取り方が不自然で、聞き手に<u>内容が伝わらない</u>。
グレード なし	<ul style="list-style-type: none"> ● 求められている解答内容から明らかに外れている。 ● 英語ではない、あるいは、英語として通じない。 ● 力を測るための十分な量の発話がない。

3 受験者の解答例の評価とその理由

受験者の解答例	参考 CEFR-J レベル	評価の理由
<p>“Cat is on the bed. Books are under the bed. Basketball is on the chair. Banana and flowers are on the table. The pictures on the wall.”</p>	<p>A1.3</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・この解答例は、平易な文を使ってイラストを適切に描写している良い例です。 ・イラストの内容を描写する上で重要なポイント（「何が」、「どこに」あるか）のうち、少なくとも五つを適切に描写しています。 ・平易な文を使って描写しています。 ・文法と語彙に多少の基礎的な誤りがありますが、聞き手が十分に理解することができます。 ・発音、話す速さ、間の取り方がおおむね適切で、聞き手が十分に理解することができます。
<p>“I can see many books, many books <i>is</i> under the bed. I can see <i>cat</i>, cat is on the bed. Flowers, I can see flowers. Flowers <i>is</i> on the table and banana. I can see <i>basketball</i>. I can see picture... picture <i>is</i> on the wall.”</p>	<p>A1.2</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・イラストの内容を描写する上で重要なポイント（「何が」、「どこに」あるか）のうち、少なくとも四つを適切に描写しています。 ・平易な文を使おうとしていますが、文法と語彙に基礎的な誤りがあり、聞き手にとって分かりにくいことがあります。 ・話す速さが不自然で、聞き手にとって分かりにくいことがあります。 ・「バスケットボールが見えます」という言い方は、「どこに」という情報がないので十分な描写にはなりません。
<p>“<i>The book under bed. The cat on the bed. The basketball on the chair. The chair under the basketball. The banana on the table. The flower in the pot. The picture ... the picture next to the bed. The chair next to the table.</i>”</p>	<p>A1.1</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・イラストの内容を描写する上で重要なポイント（「何が」、「どこに」あるか）のうち、少なくとも三つを適切に描写しています。 ・平易な文を使おうとしていますが、誤りが多く見られます。 ・文法と語彙に基礎的な誤りが多く、聞き手にとって分かりにくいところがあります（動詞の欠落、不正確な複数名詞）。 ・“The chair <i>under</i> the basketball”では意味が適切に伝わりません。前置詞の使い方に問題があります。“The basketball is on the chair.”が適切な表現です。 ・この受験生が <i>be</i> 動詞を使っていれば（例：The cat <i>is</i> on the bed. The bananas <i>are</i> on the table. ）、より良い評価になっていたでしょう。

受験者の解答例	参考 CEFR-J レベル	評価の理由
<i>"I bed making a cat. I chair, basketball I ... banana"</i>	PreA1	<ul style="list-style-type: none"> まとまりのない語句を並べる程度で、適切な解答をしていません。 文ではなく、限られた語句で答えています。 文法と語彙に誤りがあるため、解答の内容が伝わりません。 発音、話す速さや間の取り方が不自然で、聞き手に内容が伝わりません。
<i>"The table on the banana. ... Err... the bed on the cat. The bed under the books. The chair on the basketball. The table on the ... under ... on the flower."</i>	PreA1	<ul style="list-style-type: none"> まとまりのない語句を並べる程度で、課題に適切に解答していません。 文法と語彙に誤り(※)があるため、解答の内容が伝わりません。 ※語順の誤りがあるため、この描写をもとにイラストを再現することはできません。 発音、話す速さや間の取り方が不自然で、聞き手に内容が伝わりません。

4 採点者のコメント

- ・ A1.3 レベルの解答は、イラストに描かれた状況のほとんど、または全てについて適切な文構造（主語＋動詞＋場所を表す前置詞句、または主語＋動詞＋目的語＋場所を表す表現）を使って描写していました。
- ・ A1.1 または PreA1 レベルの解答は、イラストに描かれた状況の描写が少なく、文法的な誤り（動詞の脱落や語順の誤りなど）が多く見られました。

5 指導者の皆さんへ（ブリティッシュ・カウンシル 採点チームより）

- ・ イラストの中にあるものを全て描写するように促してください。
- ・ 受験生がイラストを描写する際に、「主語＋動詞＋場所を表す前置詞句（例：The cat is on the bed.）」という形が使えるように練習するとよいでしょう。
- ・ 受験生が動詞を使って文の形で表現できるようにしてください。動詞を使うことで、より正しく相手に伝えることができます。
- ・ 物の位置を伝える際には、通常、大きいものよりも、小さいものに焦点を当てて表現します。例えば、「The chair is under the basketball.」より、「The basketball is on the chair.」の方が自然です。同様に、「The cat is on the bed.」の方が「The bed is under the cat.」より自然です。このような点に気を付けることで、より分かりやすいコミュニケーションにつながります。

Part D

<問題指示文>

Part D は、3枚のイラストについて説明する問題で、1問あります。あなたは授業で、エマ先生に毎日の習慣を英語で説明しようとしています。次の3枚のイラストがあなたの毎日の習慣であるとして、次の画面で表示される表現を最初に使って解答してください。

この表現を最初に使って解答を始めてください。

"This is my day."



1 評価の観点とその主なポイント

コミュニケーションの達成度

- コミュニケーションの目的や場面、状況などに応じて、イラストにある全ての時間の表現を使い、三つのイラストを説明している。

言語使用

- 必要に応じて平易な文（現在形）を使って答えている。
- 一連の行動の流れを順序立てて説明するための表現（接続詞など）を使おうとしている。
- 文法と語彙が適切で、聞き手が理解することができる。

音声

- 発音・話す速さ・間の取り方が適切で、聞き手が理解することができる。

2 受験者の解答から見える傾向

- ・ A1.3 または A1.2 レベルの解答は、文を使って三つのイラストすべてを説明していました。
- ・ A1.3 レベルの解答は、接続表現（例：'next', 'then', 'and'）を使おうとしていました。
- ・ A1.1 レベルの解答は、文の形で表現できていないものがありました。（例：'At 7:40 I wash ...'）
- ・ 動詞の現在形を適切に使えていない解答がありました。
- ・ イラストにある時間表示に触れていない解答がありました。
- ・ 時間の読み方はおおむね適切でした。また、文構造（主語＋動詞＋目的語）もおおむね適切でした。
- ・ 典型的な誤りとして次のようなものもありました。
 - ✓ 一枚目のイラストで、'breakfast'を使っていたのは誤りのため、この解答の評価は低くなりました。
 - ✓ 二枚目のイラストで、'wash the dishes'という表現が適切に使えた解答は限られていました。

採点基準 Part D ナレーション

参考 CEFR-J	採点基準
A1.3	<p>○コミュニケーションの目的や場面、状況などに応じて、イラストにある全ての時間の表現を使い、<u>三つのイラスト全てを一連の行動</u>として説明している。</p> <p>○主に、以下のような言語的な特徴がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 平易な文を使っている。 • 一連の行動の流れを順序立てて説明するための表現（接続詞など）を使おうとしているが、多少の誤りがある。 • 文法と語彙に多少の基礎的は誤りがあるが、聞き手が十分に理解することができる。 • 発音・話す速さ・間の取り方がおおむね適切で、聞き手が十分に理解することができる。
A1.2	<p>○コミュニケーションの目的や場面、状況などに応じて、イラストにあるいくつかの時間の表現を使い、<u>三つのイラスト全てにおける</u>行動を説明している。</p> <p>○主に、以下のような言語的な特徴がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 平易な文を使っている。 • 各イラストの行動は順番に説明されているが、一連の行動の流れを順序立てて説明するための適切な表現を使っていない。 • 文法と語彙に多少の基礎的な誤りがあり、聞き手にとって分かりにくいことがある。 • 発音・話す速さ・間の取り方が不自然で、聞き手にとって分かりにくいことがある。
A1.1	<p>○コミュニケーションの目的や場面、状況などに応じて、<u>少なくとも二つのイラスト</u>の行動を説明している。</p> <p>○主に、以下のような言語的な特徴がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 平易な文を使おうとしているが、誤りが多い。 • 文法と語彙に基礎的な誤りが多く、聞き手にとって分かりにくい。 • 発音・話す速さ・間の取り方が不自然で、聞き手にとって分かりにくい。
PreA1	<p>○<u>まとまりのない語句</u>を並べる程度で、コミュニケーションの目的や場面、状況などに応じて、<u>行動を適切に説明していない。</u></p> <p>○主に、以下のような言語的な特徴がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 限られた単語や表現で答えている。 • 文法と語彙に誤りがあるため、解答の内容が伝わらない。 • 発音・話す速さ・間の取り方が不自然で、聞き手に内容が伝わらない。
グレード なし	<ul style="list-style-type: none"> • 求められている解答内容から明らかに外れている。 • 英語ではない、あるいは、英語として通じない。 • 力を測るための十分な量の発話がない。

3 受験者の解答例の評価とその理由

受験者の解答例	参考 CEFR-J レベル	評価の理由
<p>“This is my day. I ate dinner at 7 p.m. and then I wash dishes at 7:40 p.m.. I go to bed at 9:30 p.m.”</p>	<p>A1.3</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・この解答例は、一連の行動の流れを順序立てて説明する表現 (and then) を使っている良い例です。 ・イラストにある全ての時間の表現を使い、三つのイラスト全てを一連の行動として説明しています。 ・平易な文を使っています。 ・一連の行動の流れを示すための接続表現 (and then) を使っています。 ・文法と語彙に多少の基礎的な誤りがありますが、聞き手は十分に理解することができます。 ・発音、話す速さ、間の取り方がおおむね適切で、聞き手が十分に理解することができます。
<p>“This is my day. At 7 p.m., I made dinner. At the 7:40 p.m., I wash the dishes. At the 9:30 p.m., I'm un? I go to the bed.”</p>	<p>A1.2</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・イラストにある時間の表現を使い、三つのイラスト全てにおける行動を説明しています。 ・平易な文を使っていますが、適切な接続表現の使用がなく、三つのイラストが個々に説明されています。 ・文法と語彙に多少の基礎的な誤りがあり、聞き手にとって分かりにくいことがあります。 (例: go to the bed) ・一連の行動の流れを順序立てて説明する表現の使用があると、より良い評価になります。
<p>“This is my day. 7 at.. night... dinner. 7:40 is wash.. they. 9:30, night is w.. go to the bed.”</p>	<p>A1.1</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・少なくとも二つのイラストの行動を説明しています。(※三つのイラストに言及していますが、表現は A1.1 レベルです) ・平易な文を使おうとしていますが、誤りが多く見られます(動詞や語句の欠落)。 ・文法と語彙に基礎的な誤りが多く、聞き手にとって分かりにくくなっています。 ・話す速さや間の取り方が不自然で、聞き手にとって分かりにくくなっています。

受験者の解答例	参考 CEFR-J レベル	評価の理由
<p>“This is my very.. At 7... a.m... ah.. they.. ** .. 7:14 p.m. ... um .. have .. to ... at .. they ... 93 get up...”</p>	PreA1	<ul style="list-style-type: none"> ・まとまりのない語句を並べる程度で、行動を適切に説明していません。 ・文ではなく、語句に限られています。 ・文法と語彙に誤りがあるため、内容が伝わりません。 ・発音、話す速さや間の取り方が不自然で、聞き手に内容が伝わりません。

4 採点者のコメント

- ・ A1.3 レベルの解答は、三つのイラストの全てを上から順番に、つなげる接続表現（and や so など）を使って説明していました。
- ・ 一連の行動の流れを示すための接続表現を使わずに説明している場合は、A1.2 レベルの評価としました。
- ・ A1.1 または PreA1 レベルの解答は、三つのイラストの全てを説明することができず、文法や語彙の使用も適切ではない解答が多く見られました。

5 指導者の皆さまへ（ブリティッシュ・カウンシル 採点チームより）

- ・ 日常生活（家、学校、週末・休日など）で行っていることを英語で表現する練習を取り入れ、いろいろな語彙を繰り返し練習するとよいでしょう。
- ・ イラストの時間表示（a.m.か p.m.か）に気を付けさせてください。今回のイラストでは‘7:00 p.m.’なので‘dinner’とすべきところですが、‘breakfast’と表現した受験生が見られました。
- ・ 一連の行動の流れを示すための接続表現（‘and’, ‘then’, ‘next’など）を使用することで、まとまりのある説明になり、聞き手が理解しやすくなります。

ESAT-J

中学校英語スピーキングテスト

English Speaking Achievement Test for Junior High School Students

